



2027年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年8月4日

上場会社名 ウシオ電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6925 URL <https://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 朝日 崇文

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 伊藤 広己

TEL 03-5657-1000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	48,987	27.7	4,945	410.5	5,308	230.5	3,028	—
2026年3月期第1四半期	38,356	2.2	968	182.5	1,606	10.1	△2,827	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 32,205百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △2,424百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	38.11	—
2026年3月期第1四半期	△32.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	373,832	223,451	59.8
2026年3月期	331,078	198,338	59.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 223,438百万円 2026年3月期 198,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	210,000	17.2	14,000	17.1	14,000	4.9	10,500	31.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	83,500,000 株	2026年3月期	83,500,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	4,153,049 株	2026年3月期	3,682,810 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	79,464,850 株	2026年3月期1Q	88,187,082 株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページをご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)
当社は、2026年8月4日(火)に証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。
この説明会で使用する資料につきましては、2026年8月4日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢によるエネルギー問題及び日中関係の不安定化などの地政学リスク並びに為替動向など、不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、半導体・電子デバイス・プリント基板市場においては、世界的にパソコンやスマートフォンなどの需要が緩やかに回復し稼働は安定的に推移しており、関連する設備投資が回復しつつあります。サーバー市場においては、生成AI関連に牽引され新たな需要の高まりが見られ、データセンター向けサーバーへの投資が増加傾向にあります。フラットパネルディスプレイ市場においては、スマートフォンやタブレット端末用の有機ELディスプレイの需要や、国際イベントに伴う液晶パネルの一時的な需要回復により液晶パネルメーカー各社の稼働は堅調に推移しました。映像関連市場においては、エンターテインメントの多様化が進むものの、映画館の稼働は安定的に推移し、また、投資意欲も堅調に推移しました。一般映像機器市場においては、イベント等での高度な映像演出ニーズの高まりにより、堅調な市況が継続しました。

当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが前第1四半期連結累計期間に比べ15円円安の160円となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は489億8千7百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益は49億4千5百万円（前年同期比410.5%増）、経常利益は53億8百万円（前年同期比230.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億2千8百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失28億2千7百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（Industrial Process事業）

〔露光用ランプ〕

生成AI半導体関連の需要に牽引され、設置済み装置の稼働が堅調に推移したことで販売が増加したほか、ams-OSRAM AGの光源事業買収による効果もあり、増収となりました。

〔OA用ランプ〕

ペーパーレス化の進展は継続しているものの、顧客の在庫調整一巡で売上高は横ばいとなりました。

〔光学機器用ランプ〕

国際イベントの開催などを背景にフラットパネルディスプレイ市場の稼働が緩やかな回復基調にあることや、半導体関連市場の稼働が好調であることにより販売が増加したほか、ams-OSRAM AGの光源事業買収の効果もあり、増収となりました。

〔光学装置（露光装置）〕

生成AI向けサーバー需要の増加を背景に、直描式露光装置の販売は増加しました。一方、投影露光装置は、生成AI半導体向け需要が増加しており、引き合いや受注は伸長傾向にあるものの、検収のタイミングにより対前年同期では販売が減少しました。これらの結果、減収となりました。

〔光学装置（その他）〕

EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源に関する保守メンテナンスサービス収入が、一部光源の稼働停止により減少し、減収となりました。

なお、利益面では、光源事業の増収及び稼働改善で収益性が向上したほか、露光装置の需要増加により過去に計上した評価損の戻し入れ等が発生したことで、増益となりました。

以上の結果、Industrial Process事業の売上高は205億5千1百万円（前年同期比29.9%増）、セグメント利益は28億6千7百万円（前年同期比777.4%増）を計上いたしました。

（Visual Imaging事業）

〔プロジェクター用ランプ〕

レーザープロジェクターの浸透が継続的に進んでおり、プロジェクター用ランプの販売は減少傾向にあります
が、ams-OSRAM AGの光源事業買収による増加に加え、円安の効果もあり、増収となりました。

〔映像装置（シネマ）〕

映画館での投資意欲は堅調であり、プロジェクターの置き換え需要が継続しているものの、対前年同期ではデジ
タルシネマプロジェクターの販売台数が減少したことで、減収となりました。

〔映像装置（一般映像）〕

エンターテインメント分野における映像演出ニーズが堅調に推移し、ハイエンドプロジェクターの販売が増加し
たことから、増収となりました。

なお、利益面では、構造改革による効果で収益性の改善が寄与し、増益となりました。

以上の結果、Visual Imaging事業の売上高は230億1千8百万円（前年同期比25.8%増）、セグメント利益は13
億7千6百万円（前年同期比290.9%増）を計上いたしました。

（Life Science事業）

ams-OSRAM AGの光源事業買収の効果により、増収となりました。また、新規案件の投資対象見極めによる収益性
改善の効果が継続し、増益となりました。

以上の結果、Life Science事業の売上高は21億3千7百万円（前年同期比34.2%増）、セグメント利益は2億2
千6百万円（前年同期比98.6%増）を計上いたしました。

（Photonics Solution事業）

半導体向けデバイス及びモジュールの販売が堅調に推移したほか、ams-OSRAM AGの光源事業買収の効果により増
収となりました。また、案件の選択と集中による収益性改善の効果は継続し、増益となりました。

以上の結果、Photonics Solution事業の売上高は30億1百万円（前年同期比29.1%増）、セグメント利益は4億
7千5百万円（前年同期比109.2%増）を計上いたしました。

（その他事業）

客先製造ラインの稼働低下に伴い点灯装置の販売が減少しましたが、主に販管費の減少により、増益となりまし
た。

以上の結果、売上高は2億8千3百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント利益は2千9百万円（前年同期は
セグメント損失2千3百万円）を計上いたしました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産は、3,738億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ427億5千4百万円増加いたしました。主な増加要因は、保有投資有価証券の含み益の増加による投資有価証券の増加であります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、1,503億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ176億4千1百万円増加いたしました。主な増加要因は、保有投資有価証券の含み益の増加による繰延税金負債の増加であります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,234億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ251億1千3百万円増加いたしました。主な増加要因は、保有投資有価証券の含み益の増加によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,749	72,027
受取手形、売掛金及び契約資産	39,801	42,809
有価証券	2,231	2,387
商品及び製品	36,489	36,770
仕掛品	16,923	22,702
原材料及び貯蔵品	25,268	26,522
その他	11,716	10,596
貸倒引当金	△1,673	△1,891
流動資産合計	206,507	211,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,470	54,803
減価償却累計額	△37,378	△37,930
建物及び構築物（純額）	17,092	16,872
機械装置及び運搬具	33,866	34,058
減価償却累計額	△24,884	△25,416
機械装置及び運搬具（純額）	8,982	8,642
土地	8,552	8,583
使用権資産	7,456	7,889
減価償却累計額	△2,331	△2,624
使用権資産（純額）	5,125	5,264
建設仮勘定	2,057	1,783
その他	41,084	41,672
減価償却累計額	△29,509	△30,193
その他（純額）	11,574	11,479
有形固定資産合計	53,384	52,626
無形固定資産		
のれん	7,063	6,876
その他	4,101	3,955
無形固定資産合計	11,164	10,831
投資その他の資産		
投資有価証券	39,033	77,500
長期貸付金	15	17
繰延税金資産	2,129	2,097
退職給付に係る資産	16,299	16,337
その他	2,718	2,670
貸倒引当金	△174	△174
投資その他の資産合計	60,021	98,448
固定資産合計	124,570	161,907
資産合計	331,078	373,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,062	17,629
短期借入金	1,471	1,480
1年内返済予定の長期借入金	26,725	30,725
リース債務	1,707	1,714
未払法人税等	2,526	2,140
契約負債	13,215	13,696
賞与引当金	2,823	1,655
役員賞与引当金	81	107
製品保証引当金	3,703	3,365
その他	9,979	11,519
流動負債合計	76,297	84,033
固定負債		
長期借入金	39,775	35,775
リース債務	4,929	5,022
繰延税金負債	6,375	19,997
役員退職慰労引当金	74	86
役員株式給付引当金	220	240
退職給付に係る負債	3,935	4,114
資産除去債務	368	371
その他	762	740
固定負債合計	56,441	66,347
負債合計	132,739	150,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	27,767	27,767
利益剰余金	94,132	91,549
自己株式	△7,728	△9,208
株主資本合計	133,728	129,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,993	43,330
為替換算調整勘定	41,653	43,621
退職給付に係る調整累計額	6,948	6,821
その他の包括利益累計額合計	64,595	93,773
非支配株主持分	14	13
純資産合計	198,338	223,451
負債純資産合計	331,078	373,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	38,356	48,987
売上原価	24,346	29,095
売上総利益	14,010	19,892
販売費及び一般管理費	13,041	14,946
営業利益	968	4,945
営業外収益		
受取利息	304	327
受取配当金	326	199
その他	210	181
営業外収益合計	840	708
営業外費用		
支払利息	69	267
投資有価証券償還損	59	—
為替差損	45	51
投資事業組合運用損	—	3
その他	27	22
営業外費用合計	203	345
経常利益	1,606	5,308
特別利益		
固定資産売却益	10	3
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	10	4
特別損失		
固定資産除却損	66	50
固定資産売却損	0	30
減損損失	217	—
投資有価証券評価損	155	—
事業構造改善費用	3,605	—
特別損失合計	4,046	80
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,429	5,232
法人税、住民税及び事業税	812	905
法人税等調整額	△413	1,299
法人税等合計	398	2,205
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,827	3,027
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,827	3,028

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,827	3,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,283	27,336
為替換算調整勘定	△1,818	1,967
退職給付に係る調整額	△61	△126
その他の包括利益合計	403	29,177
四半期包括利益	△2,424	32,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,423	32,206
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	Industrial Process 事業	Visual Imaging 事業	Life Science 事業	Photonics Solution 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,824	18,301	1,591	2,325	38,043	313	38,356	—	38,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	0	0	3	3	6	△6	—
計	15,824	18,303	1,592	2,325	38,047	316	38,363	△6	38,356
セグメント利益又は 損失(△)	326	352	114	227	1,020	△23	997	△28	968

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△28百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び全社費用△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント及びその他収益を獲得する事業活動に属していない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	Industrial Process 事業	Visual Imaging 事業	Life Science 事業	Photonics Solution 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	20,551	23,017	2,137	3,001	48,707	279	48,987	—	48,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	0	—	1	3	4	△4	—
計	20,551	23,018	2,137	3,001	48,709	283	48,992	△4	48,987
セグメント利益	2,867	1,376	226	475	4,946	29	4,976	△30	4,945

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額△30百万円には、セグメント間取引消去0百万円及び全社費用△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント及びその他収益を獲得する事業活動に属していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,008百万円	2,278百万円
のれんの償却額	25	282